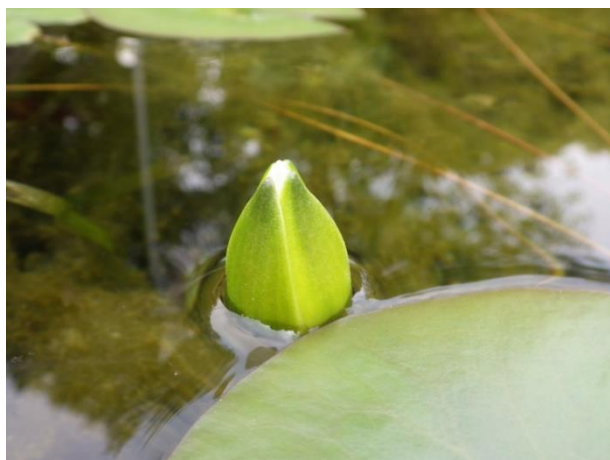


植物多様性センターの「ほんとうのヒツジグサ」

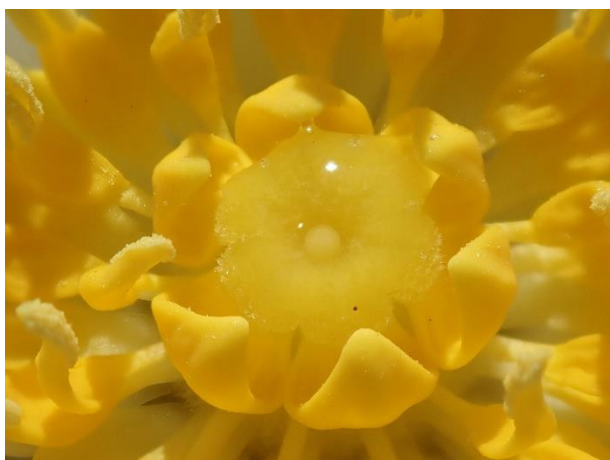
情報館脇の屋外水槽で、小さな純白のヒツジグサが咲いています。夏にツイッターでご紹介した植物は、栽培種のアメスイレンの仲間でした。ほんとうのヒツジグサを見ていただきたくて、新たに野生種から増殖した個体を導入しました。現在、開花中の花以外、3株に全部で7個の蕾があります。これから霜が降りるまで、あと数輪は咲いてくれそうです。ヒツジグサが開くのはお昼ごろ、ご覧になりたい方は朝寝坊しても間に合いますよ。



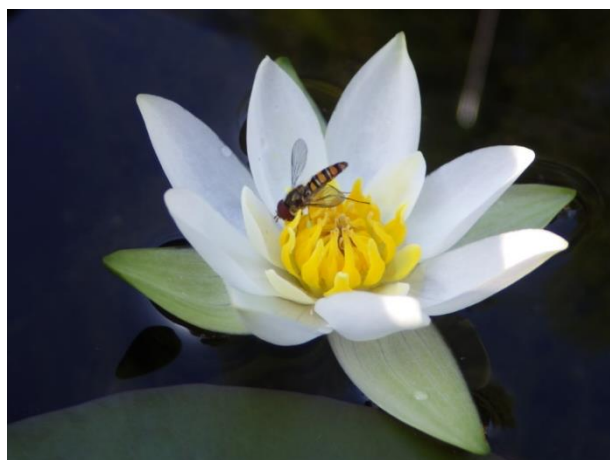
開花前:4枚の萼片に包まれた
ピラミッド型の蕾



開花初期のヒツジグサ:雌しべ
が先に熟す雌性先熟



中心部の拡大:開花直後から粘
液に覆われる雌性期の柱頭



雄性期のヒツジグサ:黄色の雄
しべにホソヒラタアブの訪花